

## 単元名 音楽ランド(3)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と声部の役割など、音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) 音の重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏したりするかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

04070306\_001

【教材名】魔法のすず（器楽）（P. 66～P. 67）

【準備等】範奏CD，リコーダー，グロッケン，木琴，オルガンなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 「魔法のすず」を合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 範奏を聴き，学習課題をつかむ。</li> <li>★ パートの役割を生かして，楽しんで合奏しよう。</li> <li>○ 楽譜の読み方を理解する。</li> <li>○ ①の上のパートをリコーダーで演奏する。</li> <li>○ パートに分かれ，練習する。</li> <li>○ 合奏する。</li> <li>○ 演奏の仕方を工夫する。</li> <li>○ 楽しみながら，美しい響きで合奏をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モーツァルト作曲の歌劇「魔笛」の第1幕に歌われている曲であること伝える。その音源があれば聴かせるとよい。</li> <li>・ 範奏CDに合わせて①のパートを指でなぞりながら，曲の進み方を確認させる。</li> <li>・ 4つのパートがあることと，①と②のパートはさらに2つに分かれていることを理解させる。</li> <li>・ 主旋律となるパートである。全員に演奏させることで，曲の全体像をつかませる。</li> <li>・ P.67の〈楽器の例〉を参考にパートを分ける①パートはリコーダーの他に鍵盤ハーモニカを加えてもよい。②は1オクターブ高くしてグロッケンでも演奏できる。③④のパートはピアノやオルガンでもよい。</li> <li>・ 全曲を通ず練習ばかりでなく，リズムのそろわないところや表現の不自然なところを取り出して練習させる。</li> <li>・ 範奏CDを聴かせ，表現方法の工夫を見付けさせ，演奏に生かせるようにする。</li> <li>・ 音の出し方やフレーズの流れなどを意識して練習させる。</li> <li>【共通事項】音の重なり</li> <li>【評】音の重なりを聴き取り，その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 録音したり，交代で聴き合ったりしてもよい</li> <li>【評】曲想や各声部の役割に合った表現をする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>【評】曲想と声部の役割など，音楽の構造とを関わらせながら演奏する活動を通して「知識」を評価する。</li> <li>【評】音色に気を付け，互いの音を聴いて，音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】